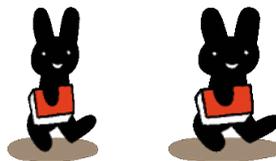


●旭川市中央図書館 読み物紹介リスト● 5年生 ①



タイトル	作者	出版社	出版年	価格
1 科学でナゾとき！ 1～3	あさだ りん／作 佐藤 おどり／絵	借成社	2020.8～ 2022.9	900円
パーフェクトな児童会長・彰吾のひみつは、同じ学校の理科教師『キリン先生』が父親であること。学校でおこるさまざまなナゾを、科学で解決していくミステリー短編集。科学が苦手な君も、読むときっと好きになる！				
2 がけ 崖の下の魔法使い	吉野 万理子／作 宮尾 和孝／絵	学研プラス	2021.9	1400円
『つらい思い出をわすれてしまえるなら…？』転入した学校になじめないミケは、同級生の大河と夕紀といっしょに思い出をあずかってくれる魔法使いと出会う。友だち・家族・好きな人…なやみをかかえる3人が選んだのは？				
3 びわ色のドッジボール	もり なつこ／作 丹地 陽子／絵	文研出版	2021.11	1400円
小学5年生の翼は、同級生とけんかになり学校に行くのがいやになってしまう。いじめられているわけではないけれど、教室に居場所がない。翼のとった行動は…？同じ経験をしたとき、そっと力になってくれるはず。				
4 おとなってこまっちゃう	ハビエル・マルピカ／作 山本 美希／絵	借成社	2022.1	1600円
主人公は9さいのサラ。ある時、大好きなおじいちゃんがけっこんすることになった。相手はママと同じくらいの年のひと。けっこん式に行きたいサラは、反対するママを説得しようとする計画をたてて…？ファミリーコメディ。				
5 まるみちゃんとうさぎくん	大前 粟生／作 板垣 巴留／絵	ポプラ社	2022.3	1400円
ある日、外出禁止になった町。それは、外に出ると体が変化してしまうから。そんな町に住むまるみちゃんとうさぎくん。2人の小学校卒業までの2年間を通して「みんなちがっていいんだ」ということを楽しく考えられる物語。				
6 ぼくは勇者をたすけたい	中松 まるは／作 めばち／絵	童心社	2022.06	1300円
本当の友達を見つけるため、オンラインゲームを始めるぼく。そこでぼくはおしゃべりが好きな「勇者」と出会う。その「勇者」は現実世界ではあるなやみをかかえていた。しかもその正体は意外にも近くにいるあの子だった。				
7 生き抜け！ 遭難の五日間	山口 理／作 十々夜／絵	文研出版	2022.08	1400円
五年生の瞬はなんでもすぐにあきらめてしまう男の子。そんな瞬は夏休みのトレッキング中に友だちと遭難してしまう。自然のきびしさを目の当たりにした瞬は、遭難五日目にして「生きること」をあきらめそうになってしまう。				
8 雪の日にライオンを見に行く	志津 栄子／作 くまおり 純／絵	講談社	2023.01	1400円
中国生まれの父をもつ唯人は、おさない頃に父と離れ離れに。何をするにも自信がない唯人はいつも孤独(こどく)を感じていた。しかし、同じクラスに人と関わろうとしない女の子・梓がやってきたことで唯人に変化が訪れる。				
9 あずきの絆 ぼくが図書室で出会った妖怪	高森 美由紀／作 神保 賢志／絵	岩崎書店	2023.01	1500円
新しい学校になじめないどころか、「本ばかり読んでいる暗い子」のレッテルをはられてしまう蓮。ある日、図書館で小豆を拾ったことから蓮の毎日は大きく変化することに。いじめられっ子と妖怪の痛快(つうかい)ストーリー。				
10 わたしはスペクトラム	リビー・スコット／著 レベッカ・ウエストコット／著	小学館	2022.11	1500円
自閉症(じへいしょう)のタリーは、感情をおさえることや空気を読むことが出来ずにいつもトラブルを起こしてしまう。自閉症である作者の実体験をベースにして、自閉症の人が考えていることや感じていることが語られる物語。				

●旭川市中央図書館 読み物紹介リスト● 5年生 ②

令和8(2026)年1月

11	ペンタとニック	風野 潮／作 吉田 尚令／絵	文研出版	2023.3	1400円
	猫のニックがいなくなって、ポスターを作ったけどむずかしい！なやむ健太を助けてくれたのはクラスメイトの平野さんだった。今度は平野さんの夢をかなえようとがんばる健太に寄りそってくれた、不思議な声の主は…。				
12	ひと箱本屋とひみつの友だち	赤羽 じゅんこ／作 はらぐち あつこ／絵	さ・え・ら書房	2023.6	1500円
	「ひと箱本屋」で手作り本を買った朱莉は、作者の理々亜に手紙を書いて友達になる。二人で夏祭りに行くが、車いすユーザーの理々亜とはぐれ気まぜいまま別れてしまう。友情と同情、心のバリアについて考えられる本。				
13	はじまりは一冊の本！	濱野 京子／作 森川 泉／絵	あかね書房	2023.9	1300円
	体育会系の父と気が合わず、でも勉強や趣味にも興味が持てない柊斗。そんなある日、図書館で「特別な本」に出会って「知りたい」気持ちがふくらみ、自分から行動して調べるように。すると周りとの関係も変わりだし…。				
14	わたしに続く道	山本 悦子／作 佐藤 真紀子／絵	金の星社	2023.11	1500円
	ケニア人の父に似たリイマは、日本生まれなのに見た目「外国人」と言われもやもやしていた。母の再婚でいっしょにくらし始めたおばあちゃんともまだぎこちない。なのになぜか二人でケニアに行くことになって…。				
15	トクベツキューカ、はじめました！	清水 晴木／作 いつか／絵	岩崎書店	2024.5	1400円
	1年に1日だけ、好きな日に学校を休んでもいい。そんな校則のある小学校に通う子たちが考えて過ごした、かけがえのない一日をえがく。語り手は5人、流れる季節の中でそれぞれのお話がつながっていく。				
16	銀樹	森埜 こみち／著 日下 明／絵	アリス館	2024.10	1500円
	孤児のシンは、朽葉の里の薬師に命を救われ、自らも薬師になることを心に決める。やがて、薬師たちがその存在を隠し、大切に守ってきた「銀樹」のを知るが、都から銀樹の薬の噂をききつけた人がやってくる…。				
17	まさきの虎	濱野 京子／作 こうの 史代／絵	童心社	2024.12	1400円
	「誰が、まさきくんのことを覚えているんだろう」。東北の祖母の家にひっこしてきたまりあは、かつて自分に優しくしてくれた男の子のことをおぼろげに思い出す。——東日本代震災で失われた命を想う物語。				
18	まほろ公園で、ふりむけば	藤重 ヒカル／作 小日向 まるこ／絵	偕成社	2025.1	1400円
	「まほろ公園」でまきおこる、ちょっとふしぎな5つの話はいった短編集。草のお面をかぶった怪しい男の人に声をかけられたり、古い電話ボックスが急に出現したり…。優しくあたたかい気持ちになれる一冊。				
19	キャロットパトン	こまつ あやこ／著	毎日新聞出版	2025.2	1500円
	体育大学の付属小学校に通う4人が、交代でひとつの物語を書いていく「童話リレー」をすることに。体育の苦手な友真が現実逃避で書き始めた物語は、予想外の結末へ——。自分の居場所について悩んでいる人へ。				
20	日下部くんには日傘が似合う	神戸 遥真／作 ぽん豆°／絵	あかね書房	2025.4	1300円
	人気者の日下部くんは、フリフリの白い日傘をさしている。「日下部くんだしな」と思いながら、心の中ではちょっと複雑な気持ちのクラスメイト5人も、少しずつ自分の本当の気持ちと向き合うようになって…。				

この読み物リストは、ここ5年くらいの間に出版された本の中から、中央図書館の児童担当司書が実際に読んでみて、小学生のみんなにも読んでほしい！と思ったお話を集めて、一冊2行(およそ100文字)で紹介したものです。